



当院の新たな取り組み



病院機能評価認定病院の認定を受けました。

当院は、公益財団法人日本医療機能評価機構が定める認定基準を達成していることが認められ、2018年5月11日付で、主たる機能リハビリ病院・副機能一般病院1の病院機能評価認定を受けました。病院機能評価とは、第三者機関（公益財団法人日本医療機能評価機構）より認定されるもので、審査を受け、病院の機能、安全管理体制、療養環境などが一定の水準に達していると評価された証です。



退院後も安心 訪問リハビリテーション

2018年6月1日よりおおぞら病院からの訪問リハビリテーションを開設しました。当院を退院される方が円滑に在宅生活へ移行できるよう、院内スタッフと連携をとり、その情報をもとに機能訓練、動作訓練、介助指導、環境調整等のサービスを提供させていただきます。また必要に応じてリハビリテーション会議を実施し、進捗状況の確認や見直しを行います。

お気軽にご相談ください



対象者

要介護認定で要支援・要介護と認定された方
● おおぞら病院を退院される方 ● おおぞら病院に通院されている方

TEL/ 089-989-6612

相談受付時間 / 8:30 ~ 17:30 (月~金曜日)

最近の出来事



春の公開講座

当院にて年に4回開催しています公開講座のうち、春の公開講座を5月12日(土)に開催しました。上甲副院長(リハビリセンター長)による「リハビリテーションについて」の講演と理学療法士による健康増進・予防に向けた評価・運動指導を行いました。味酒地区を中心に31名のたくさんの方がご参加されました。普段運動習慣の多い人、少ない人様々ですが、講演の中ではたくさんの質問や意見があり、改めて皆さま自身の健康に対する意識の高さが強く印象に残りました。実施後のアンケート結果においても、ほとんど全ての方に「満足した」といったご意見を頂き、スタッフ一同大変安心しました。また、次回公演の参加についても「したい」という意見が多くあったため、ご期待に添えられるように取り組んでいきたいと思っております。

第61回 日本糖尿病学会学術集会

5月24日(木)~5月26日(土)、東京国際フォーラムで開催され、看護部、薬剤部、理学療法士などが5演題の発表を致しました。(薬剤部 青木 浩二)

第55回 日本リハビリテーション医学会



6月28日(木)~7月1日(日)、福岡で開催され、当院の理学療法士1名がポスター発表を致しました。全国学会で学んできたことを、日々のリハビリで活かしていきたいと思っております。(理学療法士 鷹尾 繁寛)

味酒地区まちづくり協議会情報

当院は近隣地域のまちづくり活動の一環として、医療・介護の地域連携行事(体力測定や研修会など)に参加しております。住み慣れた地域で介護・医療等のサポートを受けられるよう「地域包括ケアシステム」の整備が国を挙げて推進されています。当院も2016年度から、味酒地区まちづくり協議会の福祉部会で様々な活動に参加しております。



今後も医療・介護を通じて地域の皆さまの健康サポートに尽力していきたいと考えています。(リハ部 立花 紀子)

2017年度の福祉部事業報告	
5/13(土) 市民公開講座 ロコモティブシンドロームについて (整形外科部長 河田 典久/おおぞら病院)	
7/22(土) 市民公開講座 胃がん・乳がんについて(内視鏡センター長 宮本 安尚、乳癌外科 山下 美智子/おおぞら病院)	
11/18(土) 世界糖尿病デーイベント in おおぞら病院(院長 吉田 直彦 他/おおぞら病院)	
1/21(日) ていれぎ荘「わがごと・まるごとの地域づくり」(訪問看護・リハビリチーム 竹縄 竜二)	
3/18(日) 三世代交流会 グラウンドゴルフ大会 味酒小学校(リハ部チーフマネージャー 立花 紀子)	

資格取得者紹介 最良の治療・リハビリを提案できるよう、より良い治療を目指して。

◎愛媛糖尿病療養指導士		◎認定理学療法士(脳卒中)	
(看護師)	(臨床検査技師)	(理学療法士)	
大供 美佐子	石井 優子	越智 祐輔	
福谷 勇作	山内 千恵美		
森 優香里			



TEL 089-989-6620 愛媛県松山市六軒家町4-2-20

詳しくはホームページをご覧ください。

おおぞら病院

検索



おおぞら病院ホームページQRコード

【電車利用】
●伊予鉄市内電車・城北線 萱町六丁目駅下車徒歩5分
●伊予鉄郊外電車・高浜線 古町駅下車徒歩10分
【バス利用】
●伊予鉄バス 勝岡・運転免許センター線 北宮西町バス停下車 徒歩3分



おおぞら病院 広報誌

理念

私たちは、地域の皆さまに親しまれ、信頼され、満足される病院を目指します



Vol.15 2018.7

ご自由にお持ち帰りください。



長く自分らしく

自宅で暮らすために

促通反復療法を用いての歩行訓練

topic

回復期リハビリテーション

- ・リハビリ専門職からアドバイス~自宅で暮らすために~
- ・麻痺の回復を促進~促通反復療法(川平法)実践病院~

お知らせ

2018年5月11日 病院機能評価認定病院の認定を受けました



日本医療機能評価機構 認定第 JC2265 号

ふたたび自分らしく 自宅で暮らすために

re(再び、戻す)とhabilis(適した、ふさわしい)の意味をもつリハビリテーション。理学療法士や作業療法士・言語聴覚士の専門職によるリハビリだけではなく、朝起きてから寝るまでのすべての活動がリハビリになります。「できない」を「できる」にするために、そして機能回復だけではなく「ふたたび自分らしく生きる」ことができるために。あきらめずにリハビリを続けることが、明日への一歩につながります。

リハ専門職からアドバイス ~自宅で暮らすために~

転倒予防

現在、介護が必要となる原因の多くに「転倒、骨折」があります。転倒を予防するには、まず筋力をつけることが大切！もっとも簡単な運動として、ウォーキング(歩行)があります。自分で行える範囲で普段から運動を行ない、自分の力で転倒を予防していきましょう。

1つでもチェックがつかつくと
要注意!!
予防のための運動を
心がけましょう。

理学療法士
小池 拓郎さん

チェックリスト (厚生労働省作成)

- 最近よくつまずくことがある。
- 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がれない。
- 15分以上続けて歩けない。
- この1年で転んだことがある。



自宅で暮らすための福祉用具活用

病気やケガによって食事や入浴など、身の回りの動作が困難になることがあります。このような身の回りの生活動作が容易に行えるように工夫された道具が、福祉用具です。

洗体用 長柄ブラシ

柄が長くなっているため、楽に体を洗うことが出来ます。

背中や足元に手が届きにくい方等



ループ付き タオル

タオルの両端の紐に手を引っ掛けて、首や背中を洗うことが出来ます。

手の麻痺や握力が弱く、タオルをしっかり握れない方等



福祉用具を選ぶときは、
自由度・自立度
に
つなげるかを見極める
ことがポイントです。

作業療法士
藤本 彩さん

松山市での補助金制度

対象者:要介護・要支援認定を受けている方
松山市では所得によって違いますが、基本的に対象となる福祉用具を1割または2割負担で購入することが可能です。補助金制度については個人の状況によって変わりますので、詳細は地域包括センターやケアマネージャーにご相談下さい。

誤嚥予防

誤嚥とは、本来なら食道に入るはずの食べ物が気管に入ってしまうことです。

口腔ケアも大切です。
また食事の姿勢や、
一口の量にも
気を付けましょう。

言語聴覚士
永江 拓朗さん

チェックリスト

(当てはまる症状があれば、摂食嚥下障害の疑いがあります)

- 食べるのが遅くなった
- 硬い食べ物が食べにくくなった
- 食べ物や飲み物が飲み込みにくい
- 食べ物や飲み物がむせ込むことがある
- 食中、食後に痰がからむことが多い
- 体重が急に減ってきた(50kgの人で2.5kg減)

- しっかり意識して飲み込みましょう
- 水や汁物にとろみをつけて、むせ込みを防ぎましょう
- パサパサ・バラバラの食べ物はマヨネーズや酢かけなどでまとまりやすくするなど、食べやすく調理を工夫しましょう
- 飲み込む力を鍛えましょう(嚥下おでこ体操)

嚥下おでこ体操

額に手を当てて抵抗を加え、おへそをのぞきこむ。
この運動を毎食前に5秒×10回程度行いましょう。

のどの筋肉も
トレーニング
によって、
鍛えられます。



川平法(右ページ参照)を用いたリハビリテーション

新しいリハビリ! 麻痺の回復を促進

促通反復療法(川平法)+電気刺激療法

かつて脳は一度損傷を受けると元に戻らないと言われていました。それがここ数年脳には可塑性があることがわかってきました。促通反復療法とは一度損傷した神経回路の再建と強化を促すリハビリ治療法で、鹿児島大学リハビリ科 川平和美名誉教授により研究・開発をされています。脳卒中治療ガイドラインでも促通反復療法は脳卒中後遺症である麻痺を治療するリハビリ治療法としてエビデンスレベルグレードBで推奨されています。さらに近年は再生医療後に行うリハビリ方法としても注目を集めています。また電気刺激療法についても「日本はアメリカより10年遅れている」と言われています。当院では促通反復療法に最新の電気刺激治療を併用してリハビリを行っています。

回復期リハビリ病棟施設基準には患者さんがどれだけ短期間でより日常生活動作能力が向上したかを示す実績指数というものがあります。施設基準には1から6まであり、1が最も厳しい基準ですが、施設基準1では実績指数37以上であることが必要です。当院直近の実績指数では49.7とさらに高い基準でクリアできており、回復期リハビリ病棟施設基準1を維持しています。

“おぞら病院でリハビリをしてよかった”と患者・家族の皆様喜んでいただけるよう、スタッフ一丸となって日々頑張っています。(副院長・リハビリセンター長 上甲 隆敏)



川平和美名誉教授による指導



川平和美名誉教授を迎えて

「どんなリハビリを受けたかで、その人の人生が変わってしまうんですよ。」鹿児島大学リハビリ科 川平和美名誉教授の“機”が飛びます。おぞら病院は新築移転オープン以来、川平先生にご講演・実技指導を受けてきました。その成果を対外的に発表し、昨年は当院リハビリ部より16演題の学会発表を行いました。そして昨年、鹿児島大学リハビリ科および川平先端リハララボより、促通反復療法実施病院として認定していただきました。



学び・語り合い・くつろぎの場に 患者家族教室チーム

患者家族教室チームは、今年度より本格稼働し始めました。入院中または当院を退院された患者さん・ご家族の不安や悩みに対して、少しでもお力になれるということを目的に活動していきます。また、具体的な活動内容や日程は未定ですが、ピアカウンセリングや家族教室の場を作りたいと思っています。



介護保険について、介助方法の指導、普段自宅等で介助している方同士の交流会等、ご意見・ご要望のある方は担当スタッフまでお申し付けください。

「食」もリハビリ! 骨と筋肉を強くしよう!

ふわっと香る♪厚揚げと豚肉のんにく醤油炒め



【材料(2人分)】

- 厚揚げ …………… 1枚
- 豚もも薄切り …… 80g
- 塩、こしょう …… 少々
- 酒 …………… 小さじ2
- 小松菜 …………… 1株
- 人参 …………… 2センチ
- しめじ …………… 1/2袋
- ごま油 …………… 小さじ1
- にんにく …………… 少々
- みりん …………… 大さじ1
- しょうゆ …………… 大さじ1

【作り方】

- ①厚揚げ、小松菜は一口大に切る。
- ②豚肉は一口大に切り、塩こしょうと酒で下味をつける。
- ③人参は短冊に切り、しめじは石づきを取り小房に分ける。
- ④にんにくは薄切りにする。
- ⑤フライパンにごま油とにんにくを入れて炒める。
- ⑥豚肉、厚揚げ、野菜類を入れて炒め、みりんとしょうゆを回し入れて味をなじませる。

10種類の食品をできるだけ食べよう!

骨と筋肉を強くするためにはカルシウム、たんぱく質そして十分なエネルギーが必要です。

10品目シート(国際生命科学
研究機構作成)
を参考に、毎日
6点以上の摂
取を目指しま
しょう。

自分の「食事内容」をチェック			
肉	魚	野菜・果物	豆
卵	牛乳・乳製品	海藻類	きのこ
大豆・大豆製品	発酵食品	油	調味料
牛乳・乳製品	魚介類	野菜・果物	豆
卵	牛乳・乳製品	海藻類	きのこ
大豆・大豆製品	発酵食品	油	調味料
現在の点数は?			

管理栄養士
日野 里美